

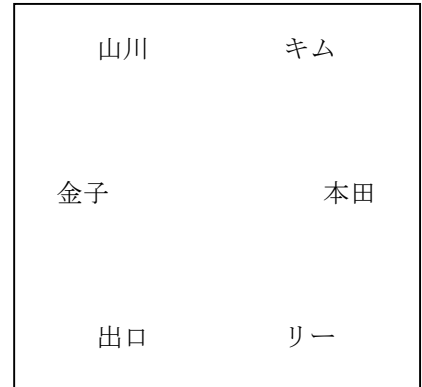
学習内容と到達目標

☞ 自分の考えたインテリア・デザインを説明できるようになる（部屋のどこに何を置くかなど）。

指導のポイント

1. INTRODUCTION

第9課の復習。ステップ2での学習内容が定着しているか十分に確認した上で先に進む。①でデザインや色、形を表す語彙がすぐに出てこなかったり、②で正解を得られなかった時は、第9課の入念な復習が必要。③は右にあるような図をノートに書かせてから聞くと、聞き取りやすくなる。



2. VOCABULARY

①は、[4. LISTENING] で引っ越し屋への指示が聞き取れ、[7. PAIR WORK] で家具の配置を説明できるようになるために必要な語彙の導入。③はテ形の生成規則の確認。変換がスムーズにできなかった時は、ここで再度確認を。

3. SPEAKING

物の位置を表す表現の確認。学習者があまり積極的に話そうとしない時は、こちらから「窓のそばに何がありますか」、「洗濯機はどこにありますか」などと聞いて発話を促す。予習を義務づけているクラスであれば、ここで「～てください」を使う練習まで広げてよい。

4. LISTENING

①では話の内容に注意を向けさせ、イラストの中の間違いを指摘させる。その後、②で他者への指示の表現方法と指示を求める表現の方法について気づかせる。
注. ここでは「～てください」を他者への「お願い」というより「指示」の表現として導入しているので、丁寧にお願いする場合の表現として「～していただけませんか」をここで導入してもよい。

5. FOCUS

①と②で扱う動詞は（gの「乗る」以外）[2. VOCABULARY] の③で練習済みなので、容易に答えられるはず。

6. LISTENING

[2. VOCABULARY] から [5. FOCUS] までの学習内容がきちんと消化できていれば問題なく正解が得られるはず。使われている動詞も「とりつける」と「かける」以外は全て [5. FOCUS] の④で一度テ形に変形済み。

7. PAIR WORK

いきなり「○○はどうしましょうか」から始めるのではなく、[4. LISTENING] のモデル会話のように「こんにちは。△△運送です」「あ、ご苦労様です」というやり取りから始めるようにする。

活動例

① 部屋のインテリア・デザインを考える

- ☞ 自分が住みたい部屋のインテリア・デザインを描かせ、家具の配置やカーテンの色・デザインについて説明させる。学習者のイメージーションが広がらない時は、学習者に Yahoo! や Google の画像検索で気に入った部屋の写真を見つけてこさせ（キーワードは「インテリア・デザイン」など）、その部屋のどこがどう気に入ったのかを話させるのも一案。

② 引っ越し

- ☞ [7. PAIR WORK] で練習したのと同じ練習。165 ページのイラストの代わりに新聞の折り込み広告（不動産会社の新築マンションの広告）を下地に使い、166 ページの写真の代わりに Yahoo! や Google の画像検索で見つけた各自の好きな家具を配置させる。

授業で使えるリソース

- ☞ The Japan Times 発行の『24 Tasks for Basic Modern Japanese』vol.1（7 課）に、この課で取り上げた「~ましょうか」と「~てください」を使って話させるインフォメーション・ギャップ・タスクがある。

